

2023

M

総合パンフレット

odus ACADEMY

★★

Technology



Trust



Passion



Since 1998



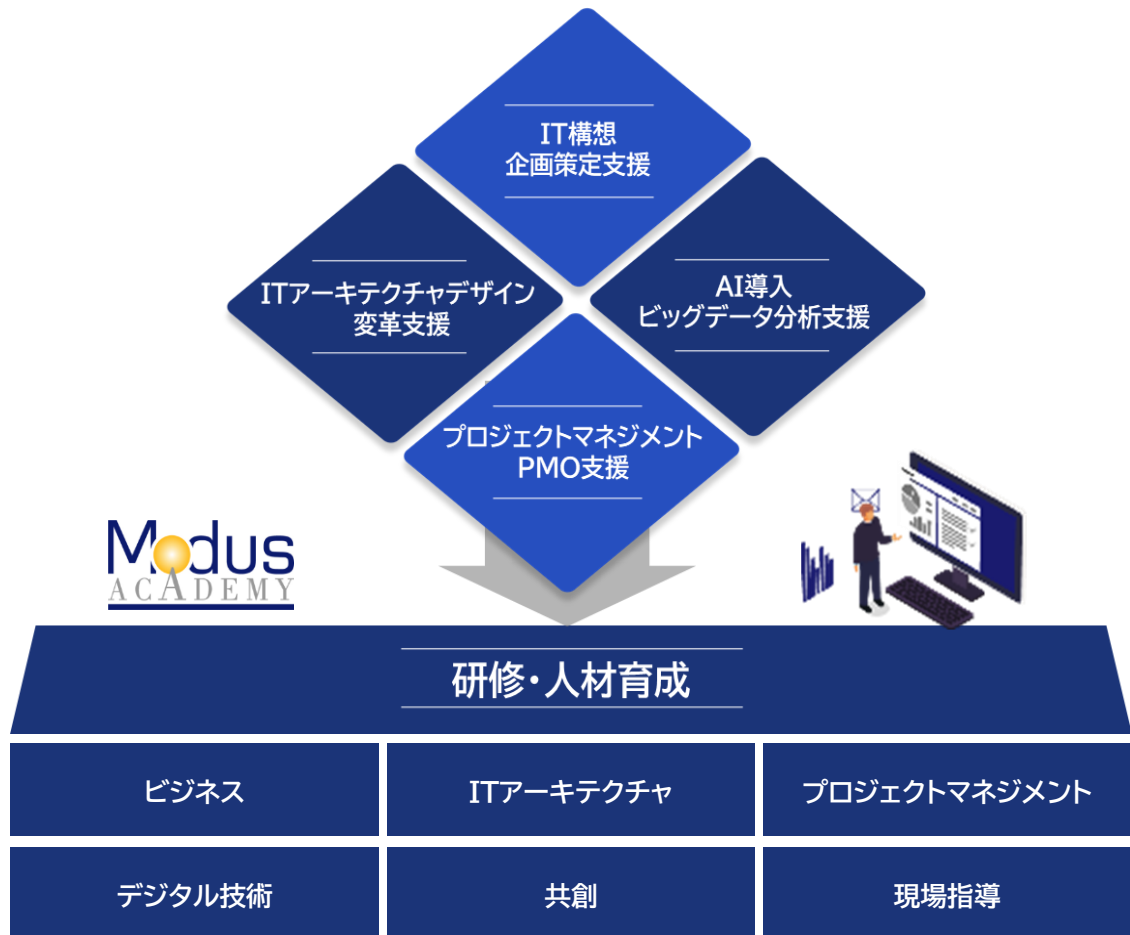
DX(デジタルトランスフォーメーション)推進コンサルティング
株式会社 アイ・ティ・イノベーション

Modus ACADEMYとは

アイ・ティ・イノベーションが提供するModus ACADEMYは
ITやDXに関わる皆様のための研修・人材育成サービスです

Modus ACADEMYの研修・人材育成サービス

アイ・ティ・イノベーションは、これまで様々なIT推進・DX推進のコンサルティングを多くのお客様に提供し、お客様と感動と喜びを共有してきました。Modus ACADEMYは、コンサルティングで蓄積した技術、様々な課題を解決したノウハウを元にプログラムを作成して、皆様に研修やワークショップを提供しています。



サービスの特徴

現場の課題解決につながる“**勘どころ**”がわかります

コンサルティングの実務に 裏打ちされた研修コンテンツ

コンサルタントとして、これまでに数多くのIT組織改革やプロジェクトに参画してきたからこそ分かる“現場での課題感とその解決方法”。実務に基づいて開発したオリジナルの研修コンテンツだからこそ、即戦力となるスキルが身につきます。

ITの現場を熟知した講師陣

Modus ACADEMYの講師の多くは、ITコンサルタントです。IT現場での実務経験が豊富な講師陣だからこそ、参考書をまとめたようなカリキュラムではなく、実体験に基づいた現場で使える知見を学べます。

ワークショップが中心の 実践的なカリキュラム

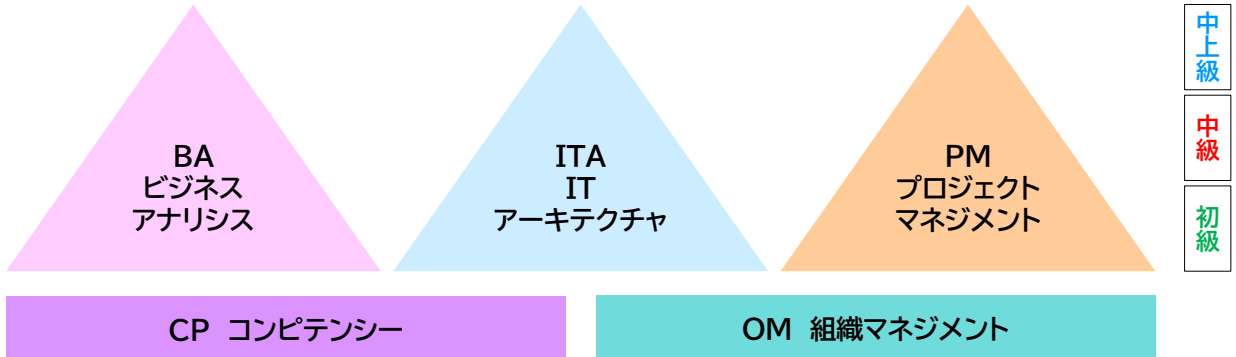
Modus ACADEMYのカリキュラムは、理論を教えるだけではなく、実例をベースにワークショップをメインとした実践的な内容。ワークショップを通して、講義で学んだ理論を実務に活かすノウハウまで体得できます。

研修コース体系

IT人材育成、DX人材育成のための研修を取り揃えております。

IT人材育成コース体系

ビジネスアナリスト、ITアーキテクト、プロジェクトマネージャの育成を中心にコース展開しており、その下支えになる、コンピテンシー、組織マネジメントのコースも提供します。

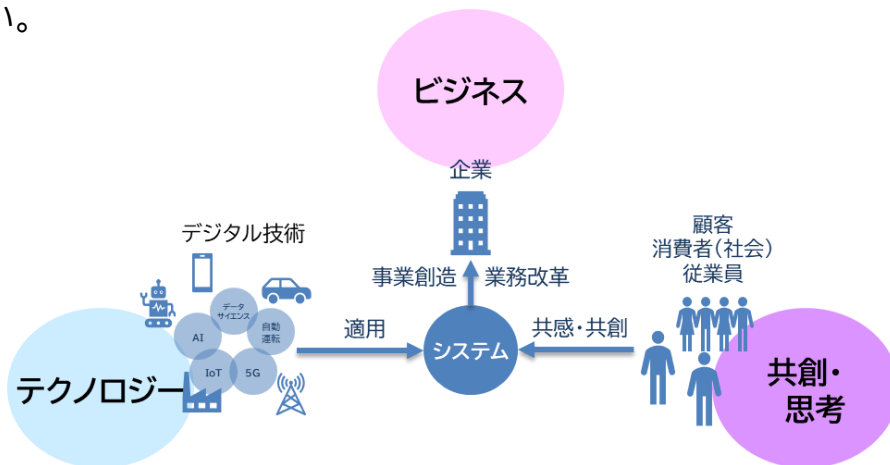


研修コース一覧はp4-5を参照ください。

DX人材育成コース

DX人材育成では、新しいデジタル技術の習得のみに目を向けてしまいがちですが、それ以外にもビジネススキル、共創・思考スキルが必要だと考えます。

これは、IT人材だけではなく、業務部門の方々にも必要なスキルです。企業全体のDX人材育成にお役立てください。



テクノロジー・デジタル技術

- ITアーキテクチャ・デザイン実践
- システム要件定義
- AI基礎×事例

ビジネス

- 戦略立案・実行計画を学ぶ3日間
- 超上流工程実践
- デジタルマーケティング超入門

共創・思考

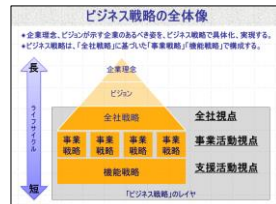
- デザイン思考
- 企画・提案に不可欠なUX視点獲得
- アジャイル開発概要

スキルアップ(学びのポイント)

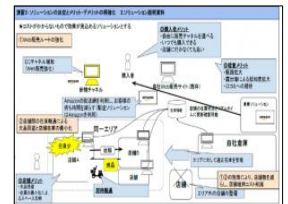
討議で知識を深める



体系的に学ぶ



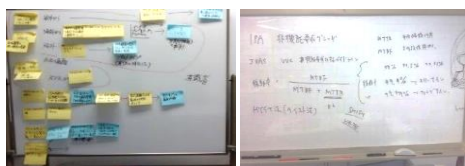
演習で体感する



研修コース一覧

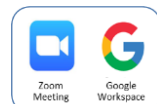
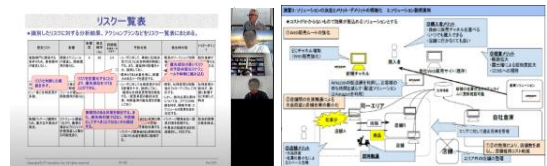
研修名	形式※1		レベル	期間	PDU 【サガナリ】 ※2	インハウス 開催費/研修 税込、()内は税抜	オープンコース 受講料/人 税込、()内は税抜	上段:紙教材費※3 下段:システム利用料※4 税込、()内は税抜
	集合	ライブ						
BA Business Analysis								
超上流工程実践 ～成功するIT構想・企画の考え方・進め方～	人気		中級	2日	14 [BA:14]	¥1,584,000 (¥1,440,000)	¥132,000 (¥120,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
提案活動実践 ～顧客要求に応えるITシステム提案の考え方・進め方～			中級	2日	14 [BA:14]	¥1,584,000 (¥1,440,000)	-	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
戦略立案・実行計画を学ぶ3日間 ～経営×ステークホルダーの視点でイノベーションを巻き起こせ～			中・上級	3日	21 [BA:21]	¥2,376,000 (¥2,160,000)	-	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
戦略立案・実行計画を学ぶ2日間 ～経営視点の習得～			中級	2日	14 [BA:14]	¥1,584,000 (¥1,440,000)	¥132,000 (¥120,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
ビジネスアナリシス入門 ～身近な事例から学ぶ～			初級	1日	6 [BA:6]	¥528,000 (¥480,000)	¥44,000 (¥40,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
引き出し&コラボレーション ～IT企画・要件定義におけるステークホルダーとの共創方法～			中級	1日	7.5 [BA:7.5]	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
企画・提案に不可欠なUX視点獲得 ～利用時品質向上のために人間中心設計を学ぶ～	人気		初級	1日	-	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
デジタルマーケティング超入門 ～データ活用に向けた第一歩を半日で学ぶ～			初級	0.5日	3 [BA:3]	¥264,000 (¥240,000)	¥22,000 (¥20,000)	¥2,200(¥2,000) ¥1,100(¥1,000)
基本のマーケティング ～なぜか売れるの公式～			初級	1日	7 [BA:7]	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) (込み)
BtoBマーケティング ～分析と戦略を実務に活かす～			中級	1日	7 [BA:7]	¥792,000 (¥720,000)	-	¥5,500(¥5,000) (込み)
ITA IT Architecture								
ITアーキテクトを目指す人のための定石習得 ～ビジネスに資するアーキテクチャを企画・設計する～	人気		中級	1日	-	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
ITアーキテクチャ・デザイン実践 ～ビジネスモデルに即したアーキテクチャとは～	人気		中・上級	1日	-	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
要件定義実践 ～成果物サンプルからセオリーを学ぶ～			中級	2日	14 [WoW:6,B A:8]	¥1,584,000 (¥1,440,000)	¥132,000 (¥120,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
システム要件定義 ～機能・非機能要件をアーキテクチャへ～			中級	1日	-	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
テストマネジメント ～テスト計画・管理・品質評価～			中級	1日	7 [WoW:7]	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
データモデリング入門 ～概念ERDと論理ERDを習得する～			初級	1日	-	¥528,000 (¥480,000)	-	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
AI基礎×事例 ～プロフェッショナルから英語で学ぶ～			初級	1日	-	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
AI導入実践 ～プロフェッショナルから英語で学ぶ～			中級	1日	-	¥792,000 (¥720,000)	-	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
OM Organization Management								
管理職のための部下育成ワークショップ ～部下のキャリアを支援する～			中級	1日	-	¥792,000 (¥720,000)	-	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)

集合研修 ※インハウス開催のみ



研修の様子

ライブ研修



研修コース一覧

研修名	形式※1		レベル	期間	PDU 【サブカテゴリ】※2	インハウス 開催費/研修 税込、()内は税抜	オープンコース 受講料/人 税込、()内は税抜	上段:紙教材費※3 下段:システム利用料※4 税込、()内は税抜
	集合	ライブ						
PM Project Management								
プロジェクト計画 ～リスクを踏まえた計画立案～			中級	2日	15 【WoW:15】	¥1,584,000 (¥1,440,000)	¥132,000 (¥120,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
プロジェクト推進力向上 ～PMとしての思考・行動を考える～	人気		中級	1日	7 【PS:7】	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
大規模プロジェクトの計画立案 ～企画・提案フェーズで考えるプロジェクトの進め方～			中・上級	2日	15 【WoW:15】	¥1,584,000 (¥1,440,000)	¥132,000 (¥120,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
大規模プロジェクトの推進 ～大規模ならではの問題に向き合い、解決力を養う～			中・上級	2日	14 【WoW:8,P S:3,BA:3】	¥1,584,000 (¥1,440,000)	¥132,000 (¥120,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
プロジェクト計画入門 ～スケジュール・体制作りのいろは～			初級	1日	6 【WoW:6】	¥528,000 (¥480,000)	¥44,000 (¥40,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
プロジェクト・コントロール入門 ～進捗管理・品質管理のいろは～			初級	1日	6 【WoW:6】	¥528,000 (¥480,000)	¥44,000 (¥40,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
はじめてのプロジェクトマネジメント ～初心者のための概論講座～			初級	1日	6 【WoW:6】	(お問い合わせ)	-	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
プロジェクト・モニタリング実践 ～脱なんとなく！品質・コスト・進捗状況を把握する～			中級	0.5日	4 【WoW:4】	¥396,000 (¥360,000)	¥33,000 (¥30,000)	¥2,200(¥2,000) ¥1,100(¥1,000)
プロジェクト計画レビュー ～脱なんとなく！計画時のチェックポイントを学ぶ～			中級	0.5日	3.5 【WoW:3.5】	¥396,000 (¥360,000)	-	¥2,200(¥2,000) ¥1,100(¥1,000)
見積り入門 ～ソフトウェア開発見積りのいろは～			初級	1日	7 【WoW:7】	¥528,000 (¥480,000)	¥44,000 (¥40,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
初期見積り ～ITシステム企画後の概算見積りの精度向上～			中級	1日	7.5 【WoW:7.5】	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
パートナー連携 ～調達先選定・管理の考え方・進め方～			中級	1日	7 【WoW:7】	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
営業のためのプロジェクトマネジメント ～プロジェクト計画、見積り、推進時のポイント～			中級	1日	7.5 【WoW:7.5】	¥792,000 (¥720,000)	-	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
アジャイル開発概要 ～アジャイル開発プロセスの基本と代表的な開発手法～			初級	1日	7 【WoW:7】	(お問い合わせ)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
アジャイル開発落とし穴 ～失敗事例を分析して成功のためのヒントを見つける～			中級	1日	7 【WoW:7】	(お問い合わせ)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
開発アプローチ選定 ～ウォーターフォールかアジャイルか～			中級	1日	7 【WoW:7】	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
チームファシリテーション実践 ～プロジェクトチームを自律的に動かし、現場力向上を目指す～			初級	1日	7 【PS:7】	(お問い合わせ)	-	¥5,500(¥5,000) -
CP Competency								
デザイン思考 ～デジタル技術×デザイン思考で新しいサービスを生み出す～			-	1日	-	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
交渉学入門 ～ステークホルダー間の対立を解消する～	人気		-	1日	6 【PS:6】	¥528,000 (¥480,000)	¥44,000 (¥40,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
ビジネスライティング千本ノック！ ～記者経験者から学ぶ～			-	1日	-	¥792,000 (¥720,000)	¥66,000 (¥60,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
伝わる文書作成術 ～構造を考える～			-	2日	-	¥1,584,000 (¥1,440,000)	¥132,000 (¥120,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
プレゼンテーション千本ノック！ ～習うより慣れろ～			-	2日	-	¥352,000 (¥320,000)	-	(込み) -
思考・分析力強化 ～プロジェクトマネジメント編～			-	1日	-	¥528,000 (¥480,000)	¥44,000 (¥40,000)	¥5,500(¥5,000) ¥1,100(¥1,000)
初級	基礎力をつける、概要を学ぶ			中級	実践力を高める、見識を深める		中・上級	応用力を鍛える、創造性を高める

初級 基礎力をつける、概要を学ぶ

中級 実践力を高める、見識を深める

中・上級 応用力を鍛える、創造性を高める

※1 [2022/12時点]ご提供可能な形式です。

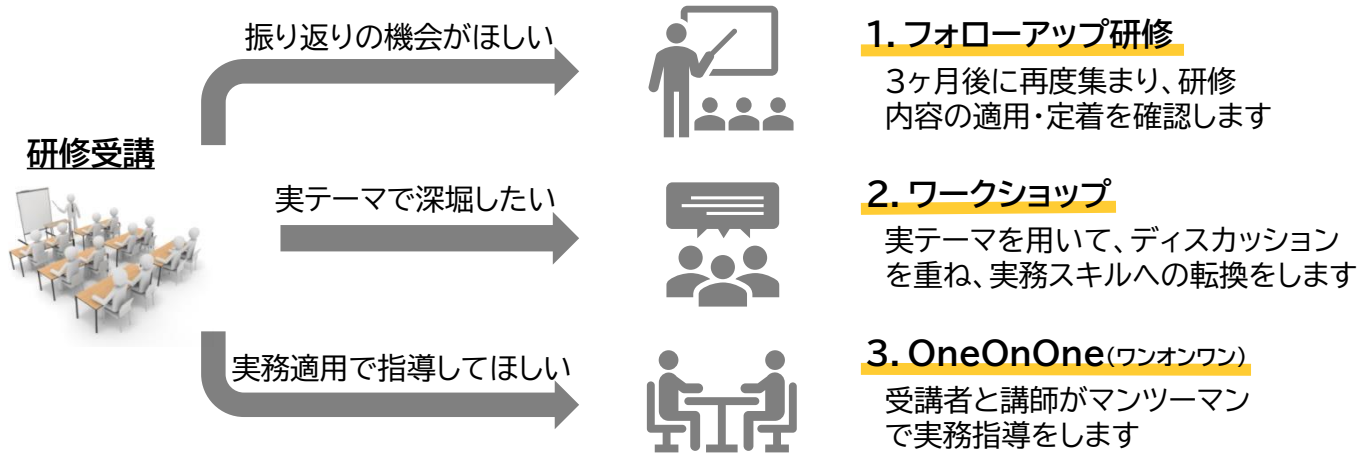
※2 PDU[サブカテゴリ]内のWoWは「Ways of Working」、PSは「Power Skills」、BAは「Business Acumen」の略です。

※3 集合研修は紙教材費がかかります。ライブ研修はPDF教材のため、教材費はかかりません。ライブ研修ご受講者で紙教材をご希望の場合は、紙教材費がかかります。

※4 ライブ研修ご受講の際には、システム利用料がかかります。

フォローアッププログラム

Modus ACADEMYは、研修のご提供だけではなく、フォローアップにも力を入れています！



1. フォローアップ研修

研修実施後、過去を振り返りながら、実務適用をグループで振り返ります。



(例) 実務でよくあるリスクについて、グループで予防策・発生時対策を洗い出す

2. ワークショップ

研修実施後、テーマ設定し、講師のアドバイスもらいながらチームで作業します。

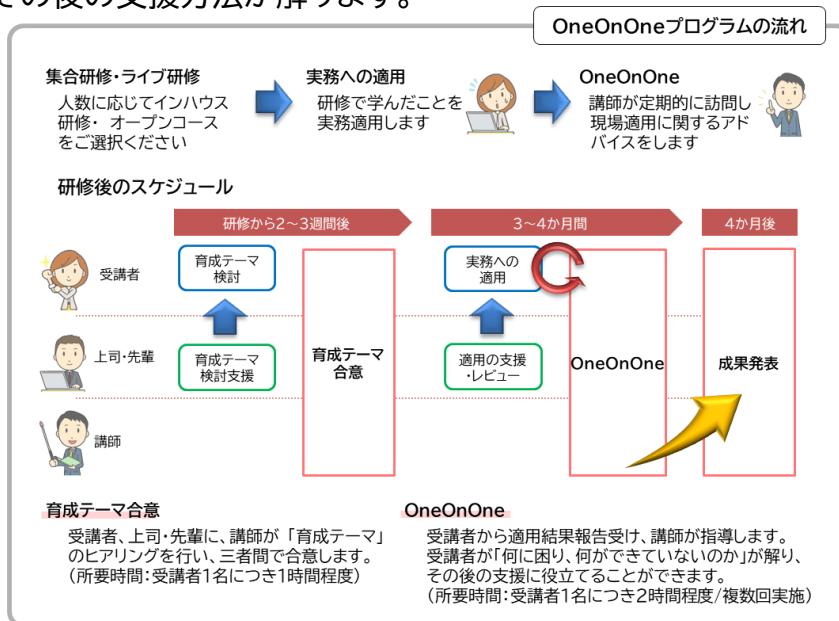


テーマ設定のアドバイス

指導・支援

3. OneOnOne

研修受講後、受講者は上司や先輩と共に「育成テーマ」を決定します。上司・先輩OneOnOneに同席しますので、その後の支援方法が解ります。



OneOnOneで得られる効果

受講者	上司・先輩
現場で使えるスキルを経験豊富な講師から学ぶ	受講者の育成上の課題を明確化する
HowToではなく思考を強化する	コミュニケーションの活性化を促す
受講者のレベルに合わせて個別指導する	部下の指導・支援方法を学ぶ

お悩み・ニーズ別お薦めサービス

アイ・ティ・イノベーションでは、人材育成に関する様々な悩みやニーズに沿ったサービスをご用意しています。過去の導入事例を元にご紹介します。

お客様の悩み・ニーズ

リーダークラスに、チーム運営に必要なマネジメントの基礎知識をつけさせたい

プロジェクト全体を管理するために、マネジメントの知識をつけたい

ユーザからアジャイル開発を求められるが、ウォーターフォールの経験しかない
プロジェクトの進め方を決定するための知識が必要

大規模プロジェクトや複雑なプロジェクトで失敗することが多い
大規模プロジェクトを牽引できるプロジェクトマネージャーを育てたい

顧客とWin-Winの関係を構築できない
ステークホルダー間の合意を得るのが難しい

主旨や根拠がわかり難い報告書やメールが多い。要点を捉えた文書を書けるようにしたい
上司がリーダーが正しく報告書のレビューをできるようにしたい

要件定義書の記載がバラバラで、抜け漏れが多い
要件定義の品質を上げたい

利用者視点の企画を考えたい
要件定義で利用者視点を取り入れたい

IT企画のアプローチや成果物は個人任せになっているため、学ぶ場を作りたい。また、実際の企画でサポートをしてもらい、定着に結び付けたい

SI事業者として仕事を受注するために、より上流工程に食い込みたい。そのためにもお客様のビジネスに沿ったコンサルティングや提案ができる社員を育成したい

社内プロジェクトマネジメント標準、開発標準に合わせた研修教材の作成、社内事例を用いた演習の作成をしたい

ユーザ企業のため、ITに特化した人材像や育成体系がない
人材育成体系の整備や導入が上手く進まない

おすすめコース・サービス

プロジェクト計画入門

プロジェクト・コントロール入門

アジャイル開発概要

プロジェクト計画

プロジェクト推進力向上

アジャイル開発概要

開発アプローチ選定

大規模プロジェクトの計画立案

大規模プロジェクトの推進

OneOnOne

プロジェクト推進力向上

交渉学入門

ビジネスライティング千本ノック！

伝わる文書作成術

引き出し&コラボレーション

要件定義実践

システム要件定義

企画・提案に不可欠なUX視点獲得

デザイン思考

超上流工程実践

OneOnOne／ワークショップ

戦略立案・実行計画を学ぶ3日間

ワークショップ

研修教材の作成
教材カスタマイズ

人材育成体系整備の支援
(コンサルティング)

管理職のための部下育成ワークショップ



人気

超上流工程実践

～成功するIT構想・企画の考え方・進め方～

2日
14PDU

Business Acumen:14

IT構想・企画段階のプロセスと、実施のためのテクニック、ノウハウを、演習を交えながら学びます。

到達目標

- ◆IT構想・企画の手順作成、進行管理を理解する
- ◆企業戦略・課題に合致したIT構想・企画を作成できる

主な学習項目

- ◆IT構想・企画の望ましい手順
- ◆企業戦略・課題に合致したIT構想・企画を導く方法
- ◆システムの概要定義の方法
- ◆システム化の実現シナリオの描き方

提案活動実践

～顧客要求に応えるITシステム提案の考え方・進め方～

オープンコース
開催なし

2日
14PDU

Business Acumen:14

ソリューション提案の進め方、顧客要求を明らかにする方法、実現性の高い見積りを行うための考え方を、演習を交えながら学びます。

到達目標

- ◆提案の基本プロセスを理解する
- ◆提案書のアピール力を高める
- ◆見積りのリスクを軽減するためのノウハウを習得する

主な学習項目

- ◆提案活動の望ましい手順
- ◆お客様の経営課題や要求に合致した提案を導く方法
- ◆お客様への訴求力の高いソリューションの表現方法と見積りに向けた準備
- ◆実現性の高い実行計画立案の考え方と見積りのポイント

※『超上流工程実践』と内容が一部共通しています。

戦略立案・実行計画を学ぶ3日間

～経営×ステークホルダーの視点でイノベーションを巻き起こせ～

オープンコース
開催なし

3日
21PDU

Business Acumen:21

外部環境・内部環境を分析して企業の戦略を考えるとともに、現場課題も踏まえ、戦略を実現するための企画までを一気通貫で学びます。

到達目標

- ◆戦略策定から企画書作成までの一連の手順を習得する
- ◆技法(フレームワーク)を理解し、活用できる

主な学習項目

- ◆ビジネス戦略検討のために必要な5Forces、CrossSWOTなどエンタープライズレベルの分析手法
- ◆ビジネス戦略からソリューションまでを整理するフレームワーク
- ◆企業戦略・課題に合致したIT構想・企画を導く方法
- ◆システムの概要定義の方法
- ◆システム化の実現シナリオの描き方

※旧名:イノベーションを巻き起こす戦略立案
※『戦略立案・実行計画を学ぶ2日間』と『超上流工程実践』の計4日間を3日間に凝縮したコースです。

戦略立案・実行計画を学ぶ2日間

～経営視点の習得～

2日
14PDU

Business Acumen:14

ビジネス環境分析から戦略立案、実現に向けたソリューション選定、ロードマップ化までの流れを、ケースを通じて体得します。

到達目標

- ◆事業戦略の策定方法を習得する
- ◆技法(フレームワーク)を理解し、活用できる

主な学習項目

- ◆5Forces、CrossSWOTなどの分析手法を用いたビジネス戦略の検討
- ◆ビジネス戦略のブレイクダウンとソリューションの洗い出し
- ◆ソリューションのグルーピングとロードマップの作成

※旧名:事業戦略を学ぶ2日間
※『超上流工程実践』をご受講の方がより上流を学ぶためのお勧めコースです。

ビジネスアナリシス入門

～身近な事例から学ぶ～

1日
6PDU

Business Acumen:6

何となく小難しい「ビジネスアナリシス」を、身近にあるサービスや実企業の取り組みなどを考察することで、ゼロから学びます。

到達目標

- ◆ビジネスアナリシスに関する基礎知識を習得する

主な学習項目

- ◆ビジネスアナリシスとは?
- ◆BABOK(R)概要
- ◆ビジネスモデルの把握
- ◆要求の洗い出し
- ◆評価項目の整理

No.1
満足度

引き出し&コラボレーション

～IT企画・要件定義におけるステークホルダーとの共創方法～

1日
7.5PDU

Business Acumen:7.5

システム企画や要件定義フェーズのコミュニケーション、文書化、ワークショップを活用した情報を引き出すテクニックを学びます。

到達目標

- ◆情報を引き出すコミュニケーションを理解する
- ◆会話や文章の内容から欠落した情報を引き出すスキルを習得する
- ◆ワークショップでの共同作業の重要性とテクニックを理解する

主な学習項目

- ◆ビジネスアナリシスとは
- ◆IT企画・要件定義での引き出し・コラボレーションとは
- ◆質問のテクニック
- ◆文書化のテクニック
- ◆ワークショップのテクニック

人気

企画・提案に不可欠なUX視点獲得

～利用時品質向上のために人間中心設計を学ぶ～

1日

商品・サービスの利用前、利用中、利用後にどのような感情を持つかを、利用者の立場で考えるUXを学び、演習で体感します。

到達目標

- ◆UXの重要性和、利用時品質向上のための人間中心設計を理解できる
- ◆UX視点を獲得し、企画・提案を行える

主な学習項目

- ◆UXの基本
- ◆ユーザーの生活世界・利用文脈を知る(演習)
- ◆カスタマージャーニーから課題抽出(演習)
- ◆UXの実践

♪こんなお悩みに最適♪
「モノ売り」から「コト売り」へ
「利用者が使いやすいITを作りたい」

※事前課題があります。

※「Design Engineering」のプロであるエスディーテック株式会社が講師を務めます。

※集合研修の場合は、インターネット検索ができる端末(スマホなど)をお持ちください。

基本のマーケティング

～なぜか売れるの公式～

1日

7PDU

Business Acumen:7

マーケティングの核となる3つの戦略「誰に、何を、どうやって」を講義、事例紹介、個人演習で体得します。

到達目標

- ◆マーケティングを体得し自社のビジネスに当てはめる
- ◆ワークショップを経験し実践的な知識を習得する

主な学習項目

- ◆マーケティングとは
- ◆自社独自の価値を見つける手法とミニ・ワークショップ
- ◆まだ見ぬ顧客を探すには？
- ◆顧客とのコミュニケーションを構築する手法
- ◆成功と失敗事例

デジタルマーケティング超入門

～データ活用に向けた第一歩を半日で学ぶ～

0.5日

3PDU

Business Acumen:3

マーケティング活動のデジタル化に伴い、知っておくべき「デジタルマーケティング」の全体像を身につけます。

到達目標

- ◆デジタルマーケティングの概要を掴む

主な学習項目

- ◆マーケティングとは
- ◆デジタルマーケティングと非デジタルマーケティングの違い
- ◆目標設定
- ◆データ収集、分析、施策

※事前課題があります。

※受講者数は最大18名までです。

※集合研修の場合は、インターネット検索ができる端末(スマホなど)をお持ちください。

BtoBマーケティング

オープンコース
開催なし

～分析と戦略を実務に活かす～

1日

7PDU

Business Acumen:7

BtoBのマーケティングについて、3つの戦略「売り物、売り先、売り方」を理論と事例で学びます。

到達目標

- ◆分析を戦略に活かせる
- ◆顧客ニーズを発見し差別化できる
- ◆自社に響くターゲットを設定ができる
- ◆新規獲得から顧客維持までを仕組み化できる

主な学習項目

- ◆今求められるマーケティングとは～売れない問題を解決するために
- ◆【売り物】値引きに頼らない製品戦略の立案
- ◆【売り先】まだ見ぬ顧客の探し方
- ◆【売り方】マーケティング計画を仕組み化する

※旧名:マーケティング応用編

コースの位置づけ

ビジネスアナリシスコースでは、ビジネス戦略から企画フェーズまでを対象としたコースがあります。対象としているフェーズをご確認の上、お申し込みください。

ビジネス戦略

企画

戦略立案・実行計画を学ぶ2日間

超上流工程実践(2日)

戦略立案・実行計画を学ぶ3日間

受講者の声

戦略立案・実行計画を学ぶ2日間

- ・2日間を通してストーリー仕立ての演習で、実世界を題材に議論をしながら演習ができた点非常によかった。
- ・事業戦略を立てる際の基本的な考え方や、考える際の要素を学べました。
- ・本を読むだけでは腹落ちできなかったが、演習で実際に戦略を考えることにより戦略の立て方が理解でき、納得感があつた。

◆ 講師紹介 ◆



弘中 伸典「超上流工程実践 担当」

システム企画やPM/PMOに関するコンサルティングを通じ、多くの大規模プロジェクトを成功に導く。現役コンサルタントとしての経験にもとづく実践的な研修により、講師としても高い評価を得ている。
出版/著書:
『「勝てる」IT構想・企画』共著(日経BP)
『医療現場のプロジェクトマネジメント』共著(碩学舎) ブログ:
『PM力であなたも組織も強くなる!』



理央 周「マーケティング研修 担当」

新規事業立ち上げとブランド構築に特化したコンサルティングと、顧客視点で成果を出せる人材開発研修を提供
出版/著書:
『なぜか売れる』の公式(日本経済新聞出版社)
『なぜ、お客様は「そっち」を買いたくなるのか?』(実務教育出版)など。



人気

ITアーキテクトを目指す人のための定石習得

～ビジネスに資するアーキテクチャを企画・設計する～

1日

システム開発のライフサイクルにおいて、ITアーキテクトが実践すべきことを、一通り概観します。

到達目標

- ◆ITアーキテクチャの重要性、ITアーキテクトの役割と責任を理解する
- ◆アーキテクチャを表現する複数のメタモデルそれぞれの目的を理解し、利用方法を決定できる
- ◆テクノロジーアーキテクチャ決定や全体最適の観点を理解する

主な学習項目

- ◆アーキテクチャとアーキテクト
- ◆ITプロセスとアーキテクチャの全体像
- ◆企画工程のアーキテクチャ定義
- ◆企画工程後のアーキテクチャ定義
- ◆要求からテクノロジーアーキテクチャへ
- ◆全体最適
- ◆全体最適に向けたマイグレーションの事例

◆講師紹介◆



横尾 誠康 「ITA定石習得 担当」

製品開発マネジメントや人材戦略／育成のコンサルティング、IT技術者のスキル診断サービス、方法論開発などを手がけ、人材・組織、プロセス、テクノロジーの変革に幅広く携わる。

出版/著書:

『“勝てる”IT構想・企画』共著(日経BP)』

ブログ:

『人材戦略・人材育成の進め方、活かし方!!』



中山 嘉之 「ITAデザイン実践 担当」

某ユーザ企業にてアーキテクト兼PMを務め、エンタープライズデータHUBの完成に至る。その後アイ・ティ・イノベーションのコンサルタントとしてカオスと化した巨大システムを整理されたデータ環境に移行する都市計画的モダナイズーション手法を確立。

出版/著書:

『システム構築の大前提—ITアーキテクチャのセオリー』

ブログ:

『現場を極めたITアーキテクトが語る 成功へ導く極意』

人気

ITアーキテクチャ・デザイン実践

～ビジネスモデルに即したアーキテクチャとは～

1日

ROIに貢献できる情報システムへ。企業情報システムのアーキテクチャのあり方を学びます。

到達目標

- ◆ITアーキテクチャの重要性を理解する
- ◆ビジネスからアーキテクチャへの落とし込みができる

主な学習項目

- ◆ビジネス戦略とIT戦略のリンク
- ◆ITアーキテクチャのデザイン
- ◆スケッチの手段
- ◆モダナイズーション(移行)
- ◆IT投資ロードマップ作成のワークショップ

※事前課題があります。

受講者の声

ITアーキテクトを目指す人のための定石習得

- ・ITアーキテクトが担う役割や責任、そしてアクティビティについて体系的に理解することができた。
- ・幅広いアーキテクトの内容を網羅的に理解できただけでなく、要求分析、全体最適の重要性や勘所が理解できた。
- ・伝統的なアーキテクチャ手法から最新の手法まで幅広く、裏付けのあるエピソードを踏まえて教えていただきとても参考となった。
- ・今の業務と照らしあわせて、できていない点、こうした方がよいという気づきにつながった。

ITアーキテクチャ・デザイン実践

- ・実体験を交えた説明が分かりやすかった。どこの企業システムでも持っている課題へのヒントが多く、参考になった。
- ・一日、EAの考え方を学習できました。
- ・EAとはどういうものなのか、演習を通じてイメージをつかむことができました。
- ・今までアーキテクトと言うとIT技術に片寄ったイメージでしたが、ビジネスの視点からの設計ということで認識を新たにしました。

要件定義実践

～成果物サンプルからセオリーを学ぶ～

2日

14PDU

Ways of Working:6
Business Acumen:8

要件定義では何を検討し、何を決めなければならないのか？その根幹を、一つのケースに基づいて講義と演習を行います。

到達目標

- ◆IT構想・企画、要件定義、設計のつながりがわかる
- ◆要件定義で検討すべき事項がわかる
- ◆機能要件を定義できる

主な学習項目

- ◆要件定義とは
- ◆現状把握と要求
- ◆プロセス分析と要件
- ◆データ分析と要求
- ◆非機能要件とアーキテクチャ

システム要件定義

～機能・非機能要件をアーキテクチャへ～

1日

機能要件と非機能要件の整合性を確保する方法、それらを踏まえたアーキテクチャ設計の観点を学びます。

到達目標

- ◆要件定義で明確にすべき要件、そのつながりや検討の流れ・手順を説明できる
- ◆機能要件、非機能要件の整合性を調整できる
- ◆要件を満たすアーキテクチャを考案できる

主な学習項目

- ◆システム要件定義の関連概念
- ◆機能・非機能要件の洗い出し
- ◆機能・非機能要件の精査
- ◆システムアーキテクチャ設計

テストマネジメント

～テスト計画・管理・品質評価～

1日

7PDU

Ways of Working:7

テストをマネジメントするための体系的な考え方、そして現場の成功体験に根ざしたノウハウを伝授します。

到達目標

- ◆テストの概念、手順、仕組みを理解し、説明できる
- ◆特性を踏まえテストアプローチを検討できる
- ◆品質状況を評価し、対策を検討できる

主な学習項目

- ◆テストによる品質向上とは
- ◆テストの計画
- ◆テストの管理
- ◆テストの完了

データモデリング入門

オープンコース
開催なし

～概念ERDと論理ERDを習得する～

1日

エンジニアにとっての基礎・基本となるデータモデリング技法(ERD)を講義と演習を通じて学びます。

到達目標

- ◆エンティティを洗い出し、概念ERDを作成できる
- ◆データを洗い出して正規化を行い、論理ERDを作成できる
- ◆ERDをレビュー・精査できる

主な学習項目

- ◆データモデリングの必要性
- ◆ERDの表記法、ポイント
- ◆トップダウンによる概念ERDの作成
- ◆ボトムアップによる論理ERDの作成

AI基礎×事例

～プロフェッショナルから英語で学ぶ～

1日

AI テクノロジーの概要とビジネスへの活用の最新動向を学ぶことで、自社に適用するアイデアを持ち帰ります。

到達目標

- ◆AI 技術の概要を理解する
- ◆グローバルケーススタディを通じた最新の技術・活用のトレンドを理解する
- ◆事例をもとに社内での企画アイデアのポイントとヒントをつかむ

主な学習項目

- ◆AI技術の概要
- ◆AIの活用事例のトレンド
- ◆身近なAI活用事例
- ◆産業別のAI活用事例

♪こんなお悩みに最適♪
「新規サービス、新規提案の幅を広げたい」
「AI活用について講師から具体的なアドバイスが欲しい」

※インド人講師を予定しており、英語の講義、テキストになります
(アシスタントの日本語サポート付)

AI導入実践

オープンコース
開催なし

～プロフェッショナルから英語で学ぶ～

1日

AIを活用したビジネス改革や業務改善の企画段階からシステム導入後までの流れを、グローバルケーススタディを介して学びます。

到達目標

- ◆企画段階から導入後までの全体像をつかみ、実用化のポイントを理解する
- ◆各フェーズにおいて、避けるポイント・成功のポイントを理解する
- ◆事例を通じて自社内での課題発見をする

主な学習項目

- ◆AIプロジェクトの全体像
- ◆成功を生み出すマインドとは？
- ◆企画段階で考慮すること
- ◆適切なソリューション選択の鍵
- ◆顧客の巻き込み方とチームビルディング
- ◆非技術者が知っておくべき実装フェーズでの注意点
- ◆システム導入後の評価とビジネスへの影響

※インド人講師を予定しており、英語の講義、テキストになります
(アシスタントの日本語サポート付)

コース紹介 『要件定義実践』 / 『システム要件定義』

要件定義では、機能要件はアプリケーション開発チームで、非機能要件はインフラチームで…と分断してしまうことがよくあります。

本来、要件定義とは、業務を実現するための主となる機能要件と、システム構成や運用を実現するための非機能要件が干涉しあうものです。

『要件定義実践』では、機能要件を定義するための、プロセス分析とモデル化・データ分析とモデル化を中心に学びます。



『システム要件定義』では業務と非機能要件の関係性や考え方について学び、アーキテクチャ設計をするためのポイントを学びます。



受講者の声

要件定義実践

- どのような要素が要件定義で必要となり、また何故それが必要となるかを理解することができた。
- 要件定義で最低限決めなければならない事柄のボリュームが多いことに、改めて気づかされました。
- 要件定義の流れがわかった。これから実際に要件定義をするのに役立つと思う。

システム要件定義

- 演習が多かったため、細部まで考えることができ、講義の理解度が深まりました。
- テキストには書いていないこと(講師の経験)を多く語っている点良かった。
- 実務に即活かせる知識を、体系的に得られた。

テストマネジメント

- テスト計画から品質評価まで、一連のポイントを学ぶことができた。
- テストに関して、今回のような議論をしたことが無かったので、よい機会となりました。



プロジェクト計画

～リスクを踏まえた計画立案～

2日

15PDU

Ways of Working:15

プロジェクト成功に向け、有効なリスク対策を盛り込んだプロジェクト計画を立案する能力を、ケーススタディを介して磨きます。

到達目標

- ◆リスクを論理的に洗い出し、整理することができる
- ◆リスクに対して効果的な対策を考案できる
- ◆リスク克服の工夫が施されたプロジェクト計画を作成できる
- ◆周囲にリスク意識を伝え、協力してリスクに対処できる

主な学習項目

- ◆リスクドリブンで、プロジェクト計画を立案する
- ◆「不安なところ」を探す方法・観点
- ◆リスクの根拠を示し、周囲とリスク意識を共有する
- ◆効果的なリスク対策を考案する
- ◆リスク対策を、具体的にプロジェクト計画に盛り込む

プロジェクト推進力向上

～PMとしての思考・行動を考える～

人気

1日

7PDU

Power Skills:7

PMに必要な思考や行動、メンバーに対する目標設定や方向性の合意、モチベーションマネジメントについて考え、議論します。

到達目標

- ◆プロジェクトマネージャとして、プロジェクトメンバーに影響力を与えることができる

主な学習項目

- ◆PMとしての自らの思考や行動を知る
- ◆PMが向かうべき方向を定め、プロジェクトメンバーのベクトルを合わせる
- ◆部下やプロジェクトメンバーのモチベーションを上げやる気にさせる

大規模プロジェクトの計画立案

～企画・提案フェーズで考えるプロジェクトの進め方～

2日

15PDU

Ways of Working:15

企画・提案活動時点から考慮すべき事項、及び大規模プロジェクトならではの計画立案時の留意点を演習を介して学びます。

到達目標

- ◆大規模プロジェクトにおけるリスクを洗い出し、対応計画が立案できる
- ◆大規模プロジェクトに要する期間・要員を的確に見積り、マスタースケジュール、体制を立案できる

主な学習項目

- ◆大規模プロジェクトの特徴
- ◆提案活動のプロセス
- ◆プロジェクト基本計画の作成
- ◆リスク対応計画の作成
- ◆リスク対策の計画への反映
- ◆見積り

※事前課題があります。

大規模プロジェクトの推進

～大規模ならではの問題に向き合い、解決力を養う～

2日

14PDU

Ways of Working:8

Power Skills:3

Business Acumen:3

演習中心の研修です。大規模プロジェクトでよくある状況を題目にとりあげ、どのように考え行動したらよいかを深く議論します。

到達目標

- ◆大規模プロジェクトを推進するために有効な施策を打てる
- ◆大規模プロジェクトで発生する問題に気づき、解決に向けた行動がとれる

主な学習項目

- ◆大規模プロジェクトの難しさ
- ◆課題管理と仕様変更管理
- ◆大規模プロジェクトの監視(モニタリング)
- ◆大規模プロジェクトのコントロール(問題の解決)
- ◆再計画(プロジェクト計画の変更)

受講者の声

プロジェクト計画

- ・複数人の目を通すと、プロジェクト計画がブラッシュアップされることがよくわかった。
- ・プロジェクト特性からリスク、計画につなげていくことが大切であると実感しました。
- ・リスクに対する考え方が変わった。プロジェクトの特性から色々なリスクが洗い出せることに気づかされた。
- ・リスクを計画やタスクに盛り込む具体的な方法を身に付けることができた。

大規模プロジェクトの計画立案

- ・4つの演習で実際に手を動かして話し合う事で新しい発見があり、自分の経験の見直しもできました。
- ・グループワークを通じて、自グループでは考えられなかった意見を他グループの発表で聴取でき、補完できた。
- ・普段の業務の中ではしっかり考える時間や機会が多くないので、今回の研修の中で改めて様々な観点を認識することができた。
- ・大規模になればなるほど、リスク対応計画を作成することが重要であることが理解できた。

プロジェクト推進力向上

- ・ステークホルダの動かし方について非常にわかりやすかったです。
- ・講義の中のミニ演習や最後の総合演習で、課題に対してどの様にPMとして振舞うかを整理することができた。
- ・講師の経験を基にした事例が分かりやすかった。
- ・プロジェクトで発生しうる問題への予防方法や対応方法に現実性がある参考になりました。

大規模プロジェクトの推進

- ・Short Case Method的な進め方により、プロジェクトの疑似体験ができました。
- ・大規模プロジェクトの各フェーズで直面する典型的な課題をテーマとして取り上げていたため、体系立てて要点を習得できた。
- ・プロジェクト運営に役立つ内容であった。大規模プロジェクトでは、顧客、経営層との連携が重要と認識した。
- ・大規模ならではの課題や対策について、知見が得られた。

プロジェクト計画入門

～スケジュール・体制作りのいろは～

1日

6PDU

Ways of Working:6

プロジェクト計画の中核となるWBS、それを軸にスケジュールや体制を明確にしていく流れを、グループワークを交え学びます。

到達目標

- ◆プロジェクト計画立案時に必要な基礎知識を習得する
- ◆WBSを作成することができる
- ◆スケジュールを作成することができる
- ◆体制を立案することができる

主な学習項目

- ◆大まかな進め方を決める
- ◆進め方の中身を詳細にしていく
- ◆進め方の細部を詰める

プロジェクト・コントロール入門

～進捗管理・品質管理のいろは～

1日

6PDU

Ways of Working:6

進捗報告から問題点を発見し、対策立案する流れを、グループワークを交え学びます。また、品質管理の基本的な考え方も学びます。

到達目標

- ◆プロジェクト推進時に必要な基礎知識を習得する
- ◆プロジェクトの問題を発見し、原因特定および解決策を検討することができる

主な学習項目

- ◆変更による混乱が生じないようにする
- ◆品質をこまめに確認して体系的に保証する
- ◆計画通りに進み捗るようにする

はじめてのプロジェクトマネジメント

オープンコース
開催なし

～初心者のための概論講座～

1日

6PDU

Ways of Working:6

これからプロジェクトマネジメントを学びたい人向けの入門・基礎コースです。

到達目標

- ◆プロジェクトマネジメントの基礎知識、プロジェクトマネジメントを実践するための基本的な手順を習得する

主な学習項目

- ◆プロジェクトとは
- ◆プロジェクトマネジメントとは
- ◆プロジェクト計画を立てる
- ◆プロジェクトを推進する

※本研修はお客様のご要望に合わせて研修時間や講義・演習の量の調整が可能です。

プロジェクト・モニタリング実践

～脱なんとなく！品質・コスト・進捗状況を把握する～

0.5日

4PDU

Ways of Working:4

プロジェクトのQCD(品質、コスト、スケジュール)をモニタリングするポイントを学びます。

到達目標

- ◆プロジェクトの状況を把握できる
- ◆プロジェクトで発生する問題を早期に発見できる

主な学習項目

- ◆監視・コントロールの概要
- ◆品質の監視・コントロール
- ◆コストの監視・コントロール
- ◆進捗(スケジュール)の監視・コントロール

プロジェクト計画レビュー

オープンコース
開催なし

～脱なんとなく！計画時のチェックポイントを学ぶ～

0.5日

3.5PDU

Ways of Working:3.5

プロジェクト計画時のポイントを、ディスカッションを交えながら学びます。レビューア、ベテラン層を対象とした研修です。

到達目標

- ◆プロジェクト計画の良し悪しを判断し、どう改善したらよいかアドバイスできる

主な学習項目

- ◆プロジェクトマネジメント概説
- ◆プロジェクト計画の手順
- ◆プロジェクトの定義とリスク対策
- ◆プロジェクト計画の立案

受講者の声

プロジェクト計画入門

- ・基本的な考え方を学ぶことができ、大変有益でした。
- ・大まかな流れは理解していましたが、各項目について深く説明して頂いたので、より理解が深まりました。
- ・演習形式で、自分でWBSを作成したり、チームで体制から検討することが面白く、気を付けるポイントも分かりやすく学ぶことができました。
- ・WBSの作り方など実用的なことから、PMBOKにある概念の部分まで理解することができました。

プロジェクト・コントロール入門

- ・進捗管理の演習が参考になった。自分では思いつかなかった視点での対策等もあり、今後の実業務でも活かしていきたい。
- ・プロジェクト計画入門から研修を受けさせてもらったため、内容がつながり理解しやすかったです。
- ・データ・グラフの分析方法や進捗管理のポイントはどの業務であっても活用できる事なので、早速活用したい。

見積り入門

～ソフトウェア開発見積りのいろは～

1日

7PDU

Ways of Working:7

これから見積りに携わる方に向け、よく知られている見積り手法や手順をやさしく解説します。

到達目標

- ◆見積りに必要な基礎知識を習得する
- ◆簡単な規模見積り、工数見積りができる

主な学習項目

- ◆見積り概論
- ◆見積り技法の整理
- ◆要件の整理と規模見積り
- ◆概略計画と工数見積り

※旧名:はじめての初期見積り

初期見積り

～ITシステム企画後の概算見積りの精度向上～

1日

7.5PDU

Ways of Working:7.5

ITシステム企画後に行う「初期見積り」の精度を向上させるための考え方を、演習を通じて身につけます。

到達目標

- ◆初期見積りの根拠を説明できる
- ◆精度の高い初期見積りができるようになる

主な学習項目

- ◆初期見積りのプロセス
- ◆不足情報・不明情報の補完と見積り前提条件の整理
- ◆見積り技法の適用方法
- ◆見積り精度を向上させる思考プロセス
- ◆論理的な矛盾・不整合が混入しがちなポイント

パートナー連携

～調達先選定・管理の考え方・進め方～

1日

7PDU

Ways of Working:7

プロジェクトにとって最適なパートナーを選定し、信頼関係を構築できるPMになるためのポイントを学びます。

到達目標

- ◆プロジェクトの特徴に合わせて調達が計画できる
- ◆パートナーの提案内容とプロジェクト遂行能力を評価できる
- ◆リスクを軽減した契約とマネジメント手法が合意できる

主な学習項目

- ◆パートナー連携の重要性
- ◆パートナーの選定手順と評価基準
- ◆パートナーも含めたチーム作り
- ◆パートナーの管理と問題への対応

営業のためのプロジェクトマネジメント

オープンコース
開催なし

～プロジェクト計画、見積り、推進時のポイント～

1日

7.5PDU

Ways of Working:7.5

営業向けにプロジェクトマネジメントを解説し、プロジェクトの成否を握るポイントを演習を通じて学びます。

到達目標

- ◆PMが作成したプロジェクトリスクや見積りを精査できる
- ◆マネジメント理論の理解した上で、PMと協力関係を構築できる
- ◆プロジェクトマネジメント上求められる、顧客接点としての適切な振る舞い(対顧客調整・顧客の立場・意見の伝達など)を高められる

主な学習項目

- ◆リスクを予測する手法・観点
- ◆効果的な対策を立てる手法・観点
- ◆精度を向上させる見積り手順
- ◆根拠立てて見積る考え方

※『プロジェクト計画』『初期見積り』と内容が一部共通しています。

受講者の声

見積り入門

- ・様々な見積手法が紹介されており、困った時の手がかりになると思う。
- ・類推の難しさ、何を根拠にするべきかを学ぶことができた。

初期見積り

- ・なんとなくやっていた部分が改善できそう。
- ・初期段階での見積り法を論理的に学ぶことができ、有意義でした。
- ・感覚や経験で行っていた見積作成について、理論的に学ぶことができました。

パートナー連携

- ・発注者側とベンダー側の立場の違いからコンフリクトが発生するが、プロジェクトを成功させるために両者がお互いの立場を理解し、同じゴールに向かう体制をどう作るかが重要と感じました。
- ・立場によって目的が違うことを意識して具体的な依頼やレビューをする必要があることがわかった。

◆ 講師紹介 ◆



能登原 伸二 「大規模計画/見積等 担当」
ユーザー企業の情報システム部門へのプロジェクト管理標準導入、PMOの運営、プロジェクト管理支援コンサルティング、IT戦略・ビジョン策定なども幅広く手がける。
出版/著書:
『プロジェクトマネジメント 現場マニュアル』



奥田 智洋 「プロジェクト計画入門等 担当」
販売管理、物流、オーダー管理、および人事、調達、経理などのコーポレート業務のシステム開発やパッケージ導入を経験するとともに、新規技術適用検討などにも参画。
出版/著書:
『PMBOK®はじめての一步』共著
(翔泳社、2022年)

アジャイル開発概要

～アジャイル開発プロセスの基本と代表的な開発手法～

1日

7PDU

Ways of Working:7

頻繁に変わる顧客要求に応えやすい「アジャイル開発プロセス」について、演習を通じて学びます。

到達目標

- ◆ソフトウェア開発プロジェクトに効果的なアジャイル開発の適用場面が判断できる
- ◆自プロジェクトの開発チームに効果的なアジャイル開発を導入し進めることができる

主な学習項目

- ◆ソフトウェア開発の問題点
- ◆アジャイル開発プロセスの典型的なチーム運営と開発サイクル
- ◆「アジャイル開発プロセス」の進め方、事例、成功・失敗例

※受講者数は最大12名までです。

アジャイル開発落とし穴

～失敗事例を分析して成功のためのヒントを見つける～

1日

7PDU

Ways of Working:7

アジャイル開発の原則、失敗の原因と対策を立案する考え方を学び、アジャイル開発プロジェクトを成功へ導くヒントを会得します。

到達目標

- ◆アジャイル開発の失敗事例から、原因と対応策を考え実践に活かすことができる
- ◆アジャイル開発の原則を用いて、事例の分析ができる

主な学習項目

- ◆アジャイル開発の概要とその原則
- ◆アジャイル開発の原則を用いた失敗事例の分析
- ◆失敗状態からの状況改善の方法
- ◆失敗しないための予防方法の立案・原則の使い方

開発アプローチ選定

～ウォーターフォールかアジャイルか～

1日

7PDU

Ways of Working:7

ウォーターフォールとアジャイルの違い、選定の観点、注意点を学びます。

到達目標

- ◆ウォーターフォール開発とアジャイル開発の特徴・違いが解る
- ◆プロジェクトのアプローチ選定の留意点が解る

主な学習項目

- ◆ウォーターフォール開発とアジャイル開発の違い
- ◆プロジェクトの特性とアプローチの選定
- ◆アジャイルにおけるプロジェクトマネジメント

チームファシリテーション実践

オープンコース
開催なし

～プロジェクトチームを自律的に動かし、現場力向上を目指す～

1日

7PDU

Power Skills:7

開発チームを自律的に回す「チームファシリテーション」について学び、ワークショップを通じて実践力を身に付けます。

到達目標

- ◆自律的に作業を進めるための仕組みとその実践方法を理解する
- ◆開発チーム目標に向けて行うべき作業と担当分けを合意し、業務を進める
- ◆作業状況の「見える化」により異常を把握し、チームが自発的に即対応を取れるようにする
- ◆作業の「ふりかえり」を行い、作業を改善する

主な学習項目

- ◆ソフトウェア開発時に行う「日々の作業」である「チームファシリテーション」を使った開発を進めるためのノウハウ
- ◆「チームファシリテーション」の導入手順を理解する

受講者の声

アジャイル開発概要

- ・アジャイル開発についての知識が深まり、メリットが理解できた。
- ・新規プロジェクトの開発方法を検討する上での1つの選択肢ができました。
- ・ポイントが押さえられており、分かりやすかった。
- ・演習を通して疑似体験することで、気づきがあり理解が深まった。
- ・アジャイル開発のメリット、デメリットが理解できた。

アジャイル開発落とし穴

- ・ウォーターフォールとの違いなどを考えることができ、アジャイル開発の考え方、やり方を知ることができた。
- ・期待どおりでした。講師の経験、知識が豊富で、とてもわかりやすかったです。
- ・参考書では見えない生の事例がわかる。
- ・発生しそうなケースが並んでおり、色々ディスカッションできたのがよかったです。

PMI認定「PMP®資格」の更新に必要なPDU発行について

- ◆「PDU」(Professional Development Unit)とは、承認された学習やプロフェッショナルとしてのサービス・アクティビティを定量化する計測単位です。
- ◆ 弊社が主催するコースについては、PDUを記載した証明書を発行いたします。
- ◆ PDU申請は自己申請していただけますようお願い申し上げます。
- ◆ コース毎に発行できるPDUが違いますので、詳細についてはコース情報をご確認ください。

修了証書サンプル



弊社はPMIの公式ATPではなく、非公式バンダーです。
PMIよりご受講確認の審査が入る可能性があります。
予めご了承ください。



デザイン思考

～デジタル技術×デザイン思考で新しいサービスを生み出す～

1日

顧客体験に関するテーマを元に、ワークショップで問題定義からデジタルテクノロジーを使ったソリューションを作成します。

到達目標

- ◆デザイン思考のプロセスがわかる
- ◆新しい発想を生み出すアプローチを知ることができる
- ◆プロセス体験により、顧客・利用者に対する満足度の高い問題解決を図る方法がわかる

主な学習項目

- ◆デザイン思考とは何か
- ◆ユーザ中心アプローチを知る
- ◆デザイン思考のプロセスとデジタルテクノロジーの活用
- ◆問題フェーズ
- ◆求解フェーズ

※旧名:DXを実現するためのデザイン思考
※事前課題があります。
※当日の環境・準備物のご連絡があります。

交渉学入門

～ステークホルダー間の対立を解消する～

1日

6PDU

Power Skills:6

ビジネスの現場で起こるコンフリクトに協調的アプローチをもって対応するための知識と技術スキルを学びます。

到達目標

- ◆現場で発生するコンフリクトに協調的アプローチをもって対処できる
- ◆交渉相手との信頼に基づく継続的な協力関係を維持できる
- ◆交渉相手との間に双方にとって建設的な合意を形成できる

主な学習項目

- ◆コンフリクト・マネジメントとは
- ◆コンフリクトへのアプローチ戦略
- ◆コンフリクトを協調的に対処するための交渉術
- ◆実践で役立つコミュニケーション技法



ビジネスライティング千本ノック！

～記者経験者から学ぶ～

1日

ビジネスで使用することが多い文書作成テクニック（メールの書き方、文章要約、箇条書きなど）を、演習を通じて学びます

到達目標

- ◆文書作成に対する苦手意識を払拭する
- ◆読み手を常に意識し、簡潔に手早く内容をまとめられるようになる
- ◆読み手に確実に意図が伝わる文書を作成できるようになる

主な学習項目

- ◆ロジックツリーの考え方
- ◆効果的な箇条書きの方法
- ◆一目で理解できる文書の作成方法
- ◆図表化のコツ

※Wordを用います。
※集合研修の場合は、パソコンをお持ちください。

伝える文書作成術

～構造を考える～

2日

正確に意図を伝えるために必要な考え方とスキルを、体系的な講義と豊富な実践演習を通じて学びます。

到達目標

- ◆正確に意図を伝えるために必要な考え方とスキルを身に付ける

主な学習項目

- ◆論理的思考力の原理
- ◆考えを表現するピラミッド構造の作り方
- ◆伝える相手を深く知ることの必要性
- ◆構造を文書や資料に展開する方法と表現技術

※Wordを用います。
※集合研修の場合は、パソコンをお持ちください。

プレゼンテーション千本ノック！

オープンコース
開催なし

～習うより慣れる～

0.5日×2

「教えてもらう」のではなく、実践を繰り返す(場数を踏む)ことで、プレゼンテーション力を磨き、自信をつけます。

到達目標

- ◆決められた時間で相手が納得するプレゼンテーションを行う
- ◆シンプルでわかりやすいスライドを作成する

主な学習項目

- ◆話し方、身振り手振りで相手に伝えることを体感する
- ◆スライドの構成、スライドを用いた話し方、振る舞いを体感する
- ◆プレゼン後、講師および他の参加者からフィードバックを受ける

※半日を2回実施します。
※録画・振り返りにスマートフォンまたはPC、イヤホンをお持ちください。
※受講者数は最大8名までです。



思考・分析力強化

～プロジェクトマネジメント編～

1日

様々な思考法を、フレームワークや実例を交えながら、広く浅く学びます。

到達目標

- ◆プロジェクトの問題解決に役立つ思考やフレームワークを知る

主な学習項目

- ◆プロジェクトにおける問題分析・問題解決の必要性
- ◆様々な思考法
- ◆問題解決に向けたフレームワーク
- ◆プロジェクトの問題を分析する演習
- ◆事例紹介

企業や事業の戦略を実現するためには、人材の育成は重要な取り組みの一つです。それにもかかわらず、10年間メンテナンスしていない、現場で使われていない人材育成体系をお持ちの企業をよく見かけます。

アイ・ティ・イノベーションでは、企業や事業の戦略に沿った人材育成計画の策定や現場導入を支援します。

人材育成に関する課題

- グループシステム本部の社員に対してITに関する教育・研修体系がなく、個人任せになっている
- 社員のスキルが把握できていない

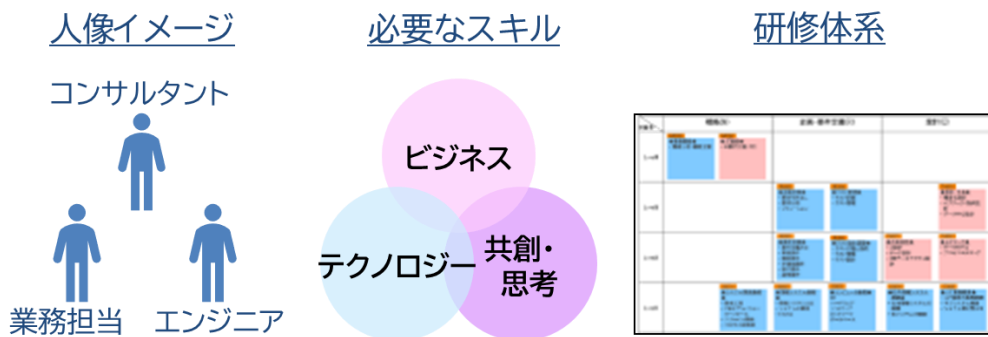
課題を解決するための施策

- IT人材の人材育成体系(P)の整備、育成の実施(D)、育成効果の評価(C)、育成体系の改善(A)をまわす

人材育成計画作成支援

企業や事業の戦略から、今後必要になる人材や役割を明らかにして、その人材・役割に必要なスキルやスキルアップのための研修体系整備を支援します。

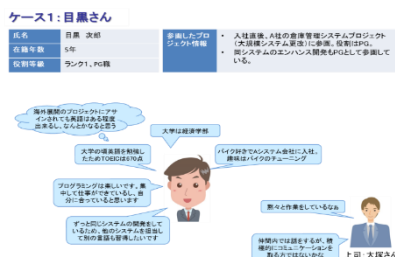
アイ・ティ・イノベーションのコンサルタントが、人材育成に関する情報提供や、ワークショップのファシリテーターを務め現場の意見を取り込みながら、組織の人材育成計画(体系)を策定します。



マネージャ育成

組織の人材育成計画を策定した後は、その枠組みを活用して、マネージャ主導で社員個人の育成計画の作成と育成の実施をしなければなりません。

マネージャの皆様に、組織の人材育成や部下育成の知識をつけていただくための研修や、部下個人の育成計画作成に関するマンツーマン指導を提供します。



管理職のための部下育成ワークショップ

オープンコース開催なし

～部下のキャリアを支援する～

1日

管理職としての立場や役割を理解し、部下育成の必要性、育成のプロセス、心得を学びます。

到達目標

- ◆管理職としての立場や役割を踏まえた行動ができる
- ◆部下育成・動機づけの具体的な手法を理解し職場で実践することができる

主な学習項目

- ◆マネージャの役割
- ◆組織目標と個人目標
- ◆部下の目標管理
- ◆部下を理解する
- ◆部下を育成する
- ◆指導・成果を記録する

研修受講方法

研修の開催方法をご選択いただけます。

オープンコース

公開講座です。当ウェブサイト等で日程を公開しています

- ・ 個人のスキルアップのため一人で受講したい
- ・ 他社との交流、意見交換をしたい
- ・ 1開催での参加者は11名以下

ライブ研修

Web会議システムを使ったオンライン研修です

- ・ テレワークを推奨されているため、自宅で受講したい
- ・ 遠隔地、複数拠点から参加したい

インハウス研修

一社開催の研修です。ご希望の開催時期で日程調整します

- ・ 社内研修として開催したい
- ・ 1開催で12名以上の参加がいる
- ・ 社内のメンバーで議論を深めたい
- ・ 組織全体でスキルアップをはかりたい

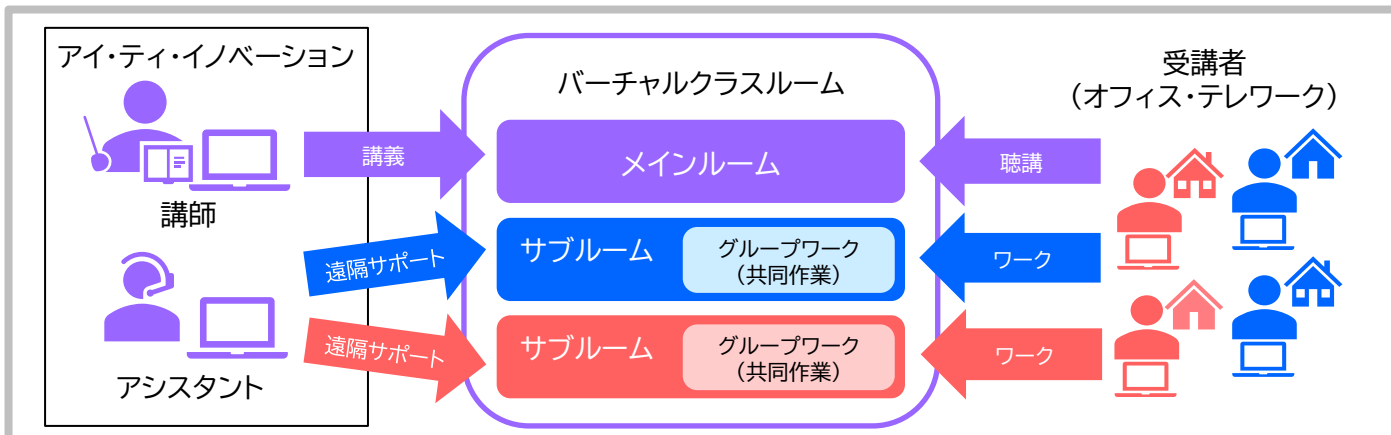
集合研修

会議室に集合して開催する研修です

- ・ 一堂に会して顔を合わせてディスカッションをしたい

ライブ研修

オフィスでも自宅でもご受講可能なライブ型オンライン研修です。



特徴

1. Zoomミーティングで講義を受講
2. 教材はPDFファイル
3. グループワークはGoogleアプリで共同作業
4. Google利用時のアカウントを貸出。お客様の会社の資産を使用しなくてもOK
5. アシスタントが操作のサポート。安心して受講可能

お客様の声

- ◆ 自宅でリラックスしながら受講ができてよかった。
- ◆ 使ったことのないツールで心配だったがアシスタントの方が丁寧にサポートしてくれたので、スムーズにグループワークができた。
- ◆ 電子ファイルで教材、グループワーク成果物をダウンロードできるのが便利だと思った。

集合研修

研修受講者、講師が研修会場に集合して開催する研修です。
インハウスで集合研修をご希望の際には、お客様指定場所に講師を派遣します。

注) 2023年度のオープンコースで集合研修の開催はございません。

感染症予防対策

集合研修開催の際には、厚生労働省による「新しい生活様式」のガイドラインに沿ったコロナウイルス対策の取り組みを実施しています。

お客様にも感染症予防対策にご協力いただき、安全に開催できるよう努力しています。

注) COVID-19等の感染状況次第では、集合研修を中止する場合がございます。

研修お申込みから受講まで

オープンコース

1. お問い合わせ
当ウェブサイト「オープンコース開催日程一覧」よりお申込みください。
2. 利用規約につきましては当ウェブサイトよりご確認ください。
3. 研修案内のご連絡
申し込まれた研修についてのご案内をご連絡いたします。
4. 受講料のご請求
お申込み者宛に請求書を発行いたします。
5. 受講料のお振込み
原則、研修実施の前日までにお振込みをお願いいたします。
6. 研修受講
ご参加を心よりお待ちしております。

※開催最少人数に達しない場合等、開催を見合わせる場合があります。予めご了承ください。

※お客様の事務手続上、研修日前日までにお支払いが難しい場合はご相談ください。

※キャンセルは、集合研修の場合、開講日の8営業日前まで、ライブ研修の場合、開講日の12営業日前まで受け付けいたします。それ以後のキャンセルは有償となりますので、ご了承ください。

※お申込みの受講者様が参加できなくなった場合、代理の方の受講も可能ですのでご相談ください。

インハウス研修

1. お問い合わせ
当ウェブサイト「問い合わせ・相談」から研修についてお申込みください。
利用規約につきましては当ウェブサイトよりご確認ください。
2. 研修実施の決定
研修1～2ヶ月前：当社からの提案(研修内容や条件面)について検討いただき、実施の判断をいただきます。
3. お打ち合わせ1
研修1ヶ月前：研修会場の手配とともに、研修までの準備スケジュールの確認と、実施条件の確認を行います。
4. お打ち合わせ2
研修1～2週間前：研修内容を決定し、詳細な実施条件や教材の手配・ご参加人数の把握を行います。(教材は、研修の前日までに会場にお届けします)
5. 研修の実施
6. 研修の実施後
研修の際に実施したご参加者アンケート結果の集計をもとにし、結果を報告いたします。

ライブ研修

1. お申込み
当ウェブサイトからお申込みください。
利用規約につきましては当ウェブサイトよりご確認ください。
2. 研修案内のご連絡
お申込みの研修についてご案内いたします。
 - ・ライブ研修の詳細
 - ・研修用アカウントの通知
 - ・接続マニュアルの送付
3. 研修前日までの準備
 - 3-1. 研修アシスタントとのZoom接続確認
所要時間は10～15分程度です。事前に接続マニュアルをご確認ください。
 - 3-2. 教材のダウンロード
研修用アカウントを利用し、クラウド上より必要な教材データをダウンロードしてください。
4. 研修受講
当日は15分前からZoom会議室を開いています。お早めにサインインしてお待ちください。
又、事前にZoomの設定、[オーディオ]より[スピーカーのテスト][マイクのテスト]を行うようお願いいたします。
ご参加を心よりお待ちしております。

集合研修

今年度のオープンコースについては、集合研修の予定はございません。ライブ研修のみの開催です。
インハウス研修で集合をお考えの場合は、ご相談ください。

※利用規約サイト <https://www.it-innovation.co.jp/kiyaku/>

※個人情報の取り扱いについて

個人情報は、業務上必要な諸連絡、当社セミナーのご案内、サービス紹介、情報提供などに利用させていただく場合がございます。貴殿の同意なく他の目的で利用することはありません。尚、当社業務の全部または一部を委託するために、外部委託先に個人情報の取り扱いを委託することがありますが、情報の漏洩等がなされないよう、適切な管理を行います。当社が保有する開示対象個人情報の利用目的の通知、及び個人情報の開示・訂正・追加・削除等を希望される場合は、下記「個人情報お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。また、貴殿が当社に個人情報を提供されることのご同意は任意です。ご同意いただけない場合は、ご希望の研修に参加申込ができない場合があります。



株式会社アイ・ティ・イノベーション (IT innovation, Inc.)

**本社
オフィス**

〒141-0032
東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー22階
TEL 03-6417-0536 (営業時間 9:30~18:00)

**中部
オフィス**

〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル4階
TEL 052-587-7681 (営業時間 9:30~18:00)

お問い合わせ先



Webサイト <https://www.it-innovation.co.jp/>



E-MAIL info@it-innovation.co.jp

